

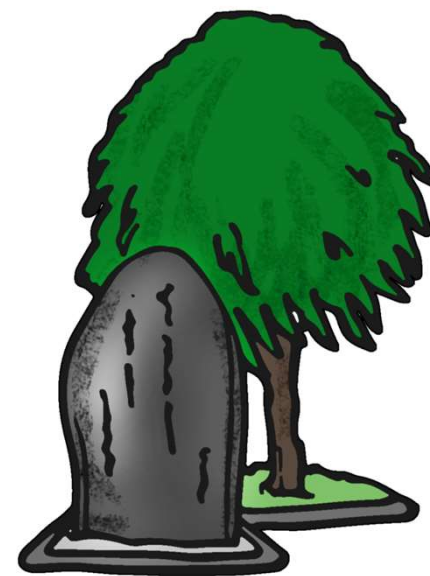
石薬師の一里塚

一里塚は、街道に1里（約3.927キロ）ごとに築かれた塚。榎（えのき）や松などが植えられ、旅人のための里程標となっていた。

石薬師の一里塚は、東海道の起点・日本橋から102里の一里塚。

ここには、榎の大木が植えられていた。昭和12年（1937年）に石薬師の一里塚は、県指定の史跡となった。

しかし、昭和34年（1959年）伊勢湾台風で榎は倒れてしまい、現在の木はその後植えられたものである。





現在の一里塚



旧東海道の松並木と一里塚
(昭和5年)

石薬師の一里塚

信長記には、天文九年（

一五四〇）冬、足利将軍が諸国

に命じて四十町を一里とし

て一里塚を築かせ、その上

に松と榎とを植えさせたとい

う。「一町は約一〇九メートル」

家忠日記には、慶長九年

二月（二六〇）秀忠が東海道

東山道、北陸道の三道に一

里塚を築かせ、一里を三十

六町に改めたという。

くたびれたやつが見つける一里塚

（江戸時代の川柳）

平成四年十月

石薬師魅力再発見委員会

〔鈴鹿市市制五十周年記念事業〕